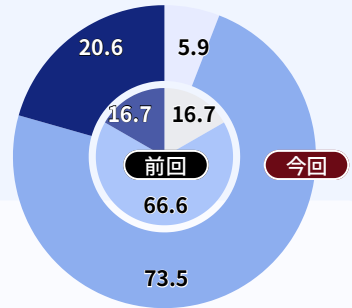


廿日市エリアの景況調査 2025年度（第4四半期）

物価高・需要低迷で景況感大幅悪化
製造・サービス業を中心に厳しさ強まる

＜景況感＞

● 好転 ● 不変 ● 悪化



全産業合計の業況DIは▲14.7ポイントと 前回調査(10～12月)から22.8ポイント悪化

- 産業別では、製造業が前回値（8.3）から今回値（▲20.0）、建設業が（0.0）から（0.0）、卸小売業が（▲9.1）から（0.0）、飲食・サービス業が（0.0）から（▲21.4）であった。
- 製造業では、一部で受注が堅調な業種がみられるものの、全体としては国内需要の低迷や住宅関連需要の弱さを背景に、売上・受注ともに減少傾向が強まっている。加えて、原材料価格や人件費の上昇、金利負担の増加が重なり、収益環境は一段と厳しさを増している。建設業では、受注は横ばい圏で推移しているものの、資材価格の高止まりや人手不足の深刻化により、採算面での厳しさが継続している。卸小売業では、消費者の節約志向の強まりにより需要が伸び悩み、売上は低調に推移。価格転嫁の遅れや競争激化も重なり、収益確保は一層困難となっている。飲食・サービス業においても、需要の弱さに加え、光熱費や人件費の上昇が経営を圧迫しており、業況は悪化。
- 全業種を通じて、原材料費や仕入価格の上昇、人件費の増加、人材確保難といった構造的な課題が深刻化しているほか、「売上・需要が増えない」との声が多く、地域経済全体で需要不足の傾向が強まっている。
- 先行きについても、コスト上昇圧力が継続する中、需要回復の見通しは不透明であり、景況は当面厳しい状況が続くものと懸念される。

● 事業者の声

製品価格改定（値上げ）後の、受注確保に苦慮している。

製造業

需要が低下してきている。

卸小売業

世の中の流れで労務費UPを進めるが、売価に反映できないので利益が減少。

飲・サービス業

一般消費者の需要が減っている、減税を行い可処分所得を増やさなければ景気は上向かない。

飲・サービス業

物価高騰による経費の増加、買い控えによる物量減少。

飲・サービス業

主要取引先の需要が減少している。

飲・サービス業

● DI値（景況判断指数）について

DI値は、売上・採算・業況などの各事項についての判断状況を表す。ゼロを基準とし、プラスの値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。従って、売上など実数値の上昇や下降を示すものではなく、強気・弱気などの景況感の相対的な広がり意味する。

※DI値 = (増加・好転などの回答割合) - (減少・悪化などの回答割合)
 収入・売上：(増加) - (減少) 仕入価格：(上昇) - (下降)
 採算・業況：(好転) - (悪化) 雇用人員：(過剰) - (不足)



業種別 景況概要	前年同期	1~3月と先行き見通し									
	全産業	全産業		製造業		建設業		卸小売業		飲食・サービス業	
	対前年	前年比	見通し	前年比	見通し	前年比	見通し	前年比	見通し	前年比	見通し
収入・売上	11.8	▲23.5	▲26.5	▲20.0	0.0	0.0	▲100.0	0.0	▲11.1	▲42.9	▲50.0
仕入価格	80.6	78.8	90.9	70.0	100.0	100.0	100.0	88.9	100.0	76.9	76.9
採算	38.7	26.5	26.5	40.0	50.0	0.0	0.0	33.3	33.3	14.3	7.1
雇用人員	▲31.3	▲44.1	▲44.1	▲50.0	▲50.0	0.0	0.0	▲33.3	▲33.3	▲50.0	▲50.0
業況	▲5.9	▲14.7	▲20.6	▲20.0	▲10.0	0.0	0.0	0.0	▲22.2	▲21.4	▲28.6
前回調査	—	0.0	▲7.1	8.3	0.0	0.0	0.0	▲9.1	▲27.3	0.0	▲7.7

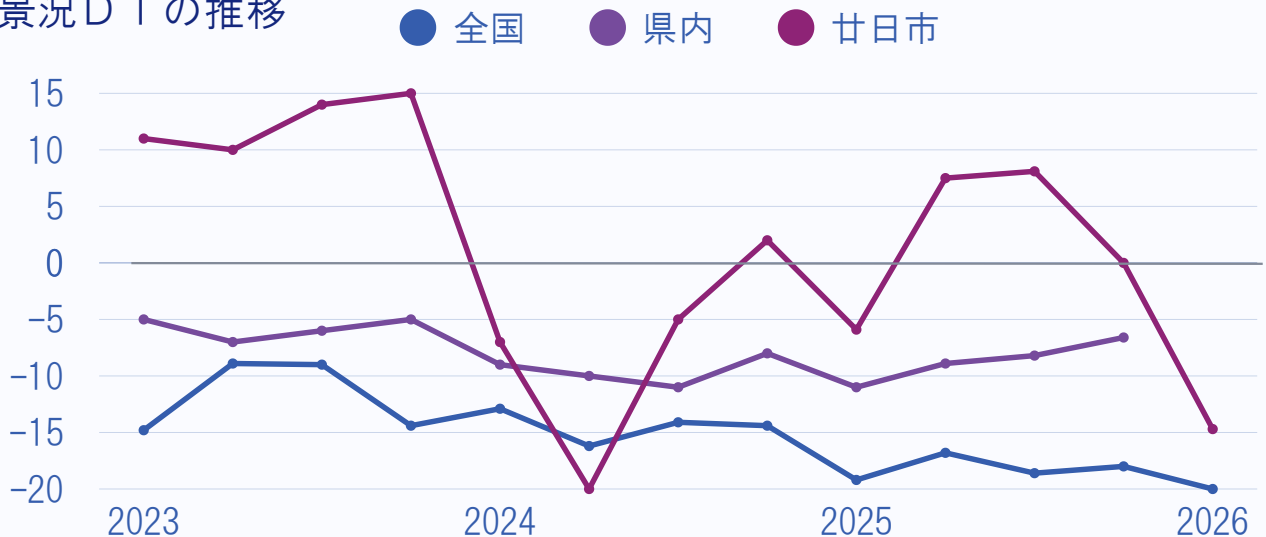
● 設備投資は？		R8. 1~3月		R8. 4~6月 見込み	
実施した・する	土地	1	0		
	建物	3	4		
	機械備品	9	7		
	車両	8	6		
	IT機器	4	3		
	その他	2	2		
	計	27	22		
実施してない・しない		17	19		

※回答のその他はランク外扱い

● 当面の問題点は？(上位)

- 従業員や人材の確保が難しい 20%
- 材料費や仕入価格が上昇 18%
- 人件費が増加している 16%
- 売上、需要が増えない 16%
- 販売単価の低下、上昇難 8%

景況DIの推移



全国	-8.9	-9.0	-14.4	-12.9	-16.2	-14.1	-14.4	-19.2	-16.8	-18.6	-18.0	-20.0
県内	-7.2	-5.9	-4.6	-9.0	-9.8	-10.6	-8.0	-11.0	-8.9	-8.2	-6.6	
廿日市	10.3	13.9	14.6	-7.0	-20.0	-5.0	2.4	-5.9	7.5	8.1	0.0	-14.7